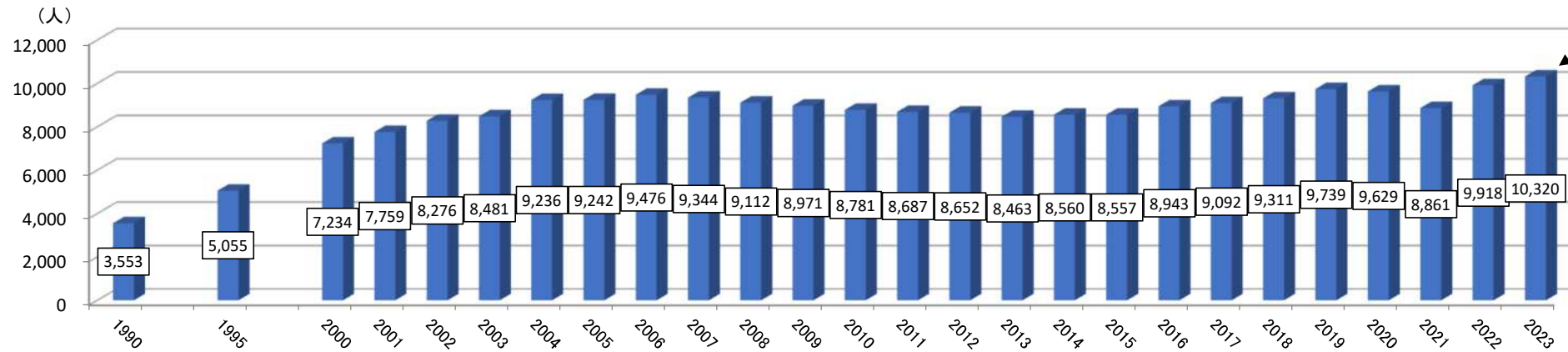


1 外国人市民数の推移

(各年12月31日現在、2023年は6月末現在)

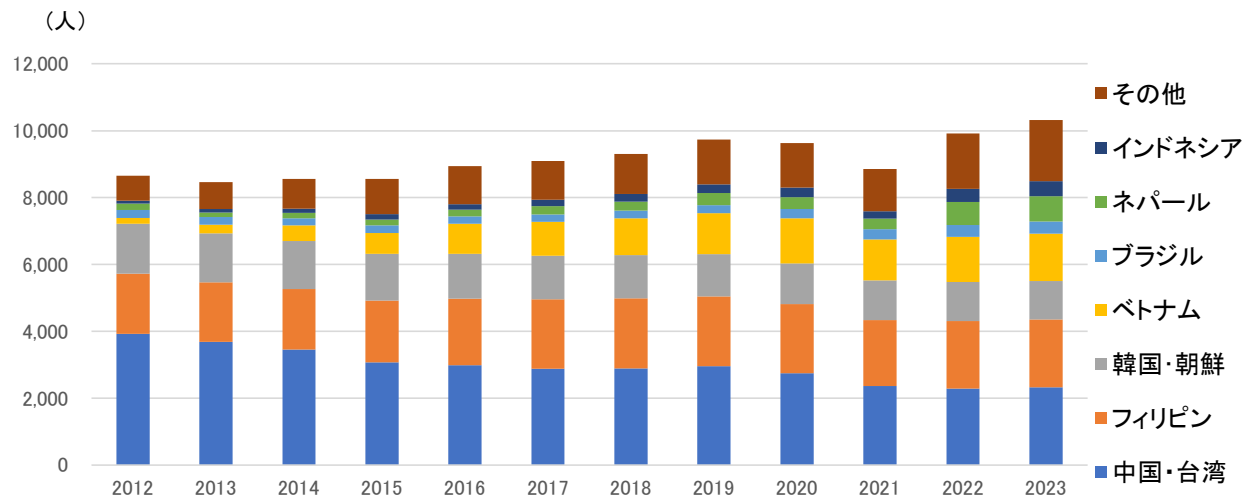
外国人住民比率 2.5%



・近年、増加傾向で推移していたところ、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少に転じていたが、「水際対策」が緩和された2022年に急激に増加し、過去最多に。
 ・2023年も増加が続き、10,000人を突破
 ・いわゆる「コロナ禍」以前に引き続き、今後も外国人住民の更なる増加が見込まれる状況。

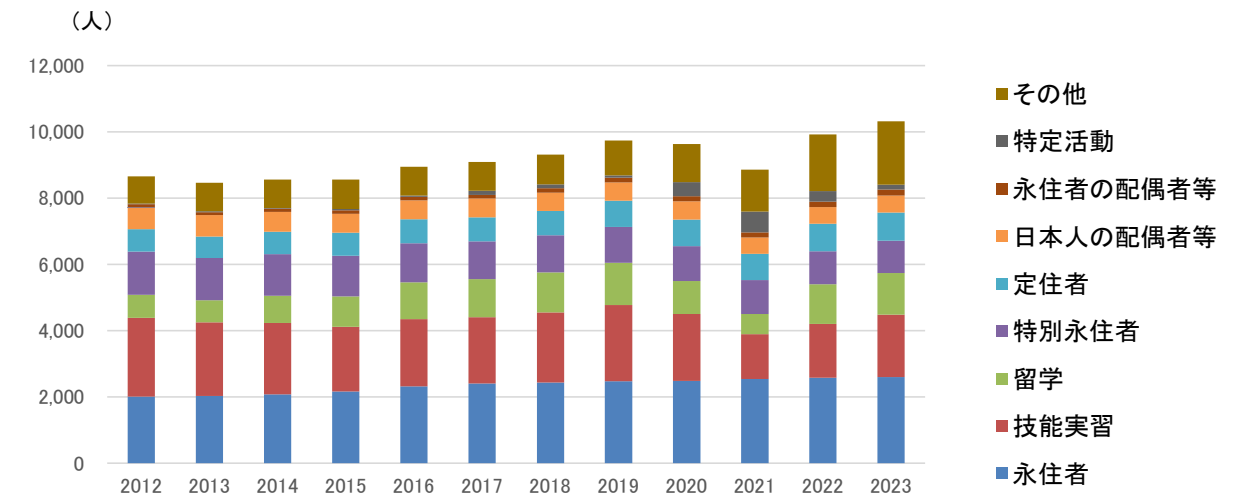
2 国籍・地域別

(各年12月31日現在、2023年は6月末現在)

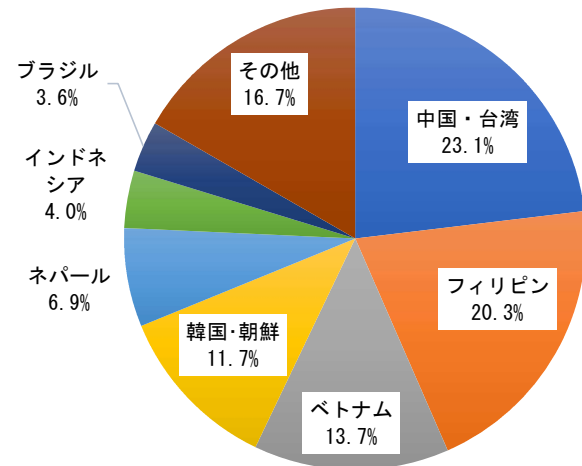


3 在留資格別

(各年12月31日現在、2023年は6月末現在)



【2023年6月末現在の比率】

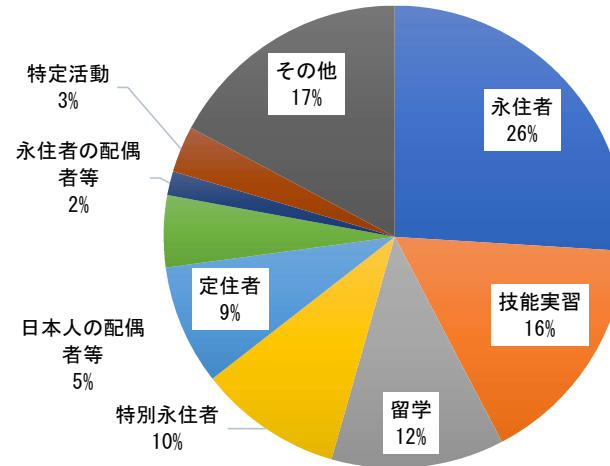


(人)

国・地域	住民数
中国・台湾	2,331
フィリピン	2,026
ベトナム	1,413
韓国・朝鮮	1,149
ネパール	751
インドネシア	456
ブラジル	369
その他	1,825
合計	10,320

・中国・台湾は2000年代中頃から減少傾向にある。
 ・ベトナムは近年増加傾向にあり、韓国・朝鮮を抜いて第3位に
 ・ネパールも増加傾向にあり、第5位に

【2023年6月末現在の比率】



(人)

在留資格	住民数
永住者	2,598
技能実習	1,885
留学	1,255
特別永住者	975
定住者	856
日本人の配偶者等	508
永住者の配偶者等	185
特定活動	145
その他	1,913
合計	10,320

・新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年から「技能実習」、「留学」が減少
 ・また、「特定活動」はコロナ禍において、留学期間終了後、帰国が困難な外国人に対応するため、申請により、「特定活動」が付与されていたため、一時的に増加
 ・「永住者」、「定住者」などは増加傾向にある。